

平成25年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努めた。

1. 第31回 まつやま中学生海外派遣

中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、現地での交流や異文化体験を通じて、未来を担う青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成に努めた。

(1) 応募・選考

1年間の国際交流事業への参加実績に応じてポイントを付与し、翌年度の派遣事業への応募資格とする「中学生チャレンジプロジェクト」を実施。派遣前に松山で活動できる国際交流事業に参加し、その意義を学び、楽しさを体感することで、派遣後も引き続き地域の国際交流に貢献できる人材の育成を目指した。

4ポイント以上の参加により、応募資格を獲得した生徒は89人。面接審査により、3年生18人・2年生24人・合計42人(22校)を選考した。

(2) 事前研修及び結団式・壮行会

事前研修：4回開催

結団式・壮行会：7月14日 10:00～11:30

(3) 派遣

①アメリカ班

期 間：7月23日～8月2日 11日間

訪 問 先：サクラメント、ロサンゼルスほか

派 遣 団：中学生 16人(男子6人、女子10人)

団 長 大 江 保(興居島中学校 校長)

引率教師 山 岡 秀 美(勝 山中学校 教諭)

〃 今 泉 磨衣子(雄 新中学校 教諭)

協会職員 向 井 かおり

活動内容：【サクラメント】

- ・州議事堂、市庁舎、オールドサクラメントの街並み等の見学
- ・コロマ金鉱での発掘体験
- ・州最大のお祭り「カリフォルニア・ステート・フェア」の見学
- ・現地姉妹都市協会との交流会
- ・ホームステイ ほか

【ロサンゼルス】

- ・カリフォルニアサイエンスセンター、全米日系人博物館見学
- ・メジャーリーグ観戦
- ・UCLAキャンパスツアー
- ・ユニバーサルスタジオツアー
- ・グルフィス天文台夜景見学 ほか

②ドイツ班

期 間：7月19日～7月30日 12日間（大阪前泊）

訪 問 先：フライブルク、インスブルックほか

派 遣 団：中 学 生 16人（男子2人、女子14人）

団 長 二 宮 秀 秋（垣 生中学校 校長）

引率教師 本 田 智 珠（道 後中学校 教諭）

〃 増 岡 美 喜（桑 原中学校 教諭）

協会職員 田 中 早 苗

活動内容：【フライブルク】

- ・エコステーション、サッカースタジアムでの環境学習
- ・旧市街でのオリエンテーリング、フライブルク大学見学
- ・ホームステイ、ホストファミリーとの交流会
- ・学校訪問による青少年交流 ほか

【インスブルックほか】

- ・アルプスハイキングと環境保護学習
- ・自然体験と野外英語研修
- ・チローラーアーベントショー（チロール地方の伝統的な歌や踊り）
- ・農家体験と現地の子どもたちとの交流 ほか

③韓国班

期 間：7月26日～7月30日 5日間

訪 問 先：平澤市、ソウル市

派 遣 団：中 学 生 10人（男子2人、女子8人）

引率教師 尾 後 千 恵（垣 生中学校 教諭）

〃 沖 野 俊 也（雄 新中学校 教諭）

協会職員 鈴 木 美 貴

活動内容：「韓中日青少年国際キャンプ」として、韓国平澤市と中国寧波市、秋田県、青森市、松山市の3カ国5都市の青少年が交流した。

- ・韓国伝統民俗遊び、灯籠づくり、陶芸絵付け体験
- ・伝統芸能「ウッタリ農楽」鑑賞
- ・ホームステイ
- ・ソウル市ロッテワールド ほか

（4）報告会

日 時：8月17日 13:30～15:30

会 場：コムズ5階 大会議室

内 容：米独韓3班による報告

25年度チャレンジプロジェクト登録生徒25人が参加

（5）報告書の発行

報 告 書：A2版両面 1, 800部（市内中学校全クラス分の枚数を配布）

（6）25年度チャレンジプロジェクト

- ・市内全中学校への案内文書の発送やホームページへの掲載のほか、4月21日に説明会を開催するなど、登録生徒を募集
- ・中学生に相応しい国際交流、体験活動を随時実施。25事業に延べ433人が参加し、87人が26年度派遣への応募資格となる4ポイント以上を獲得した。

2. 姉妹・友好都市からの青少年受入交流

姉妹・友好都市からの青少年を受け入れ、日本文化の体験やホームステイ等、松山の青少年との交流機会を創出し、国際理解と友好親善を図った。

(1) 平澤市青少年受入交流

まつやま中学生海外派遣・韓国班の中学生が、現地でパートナーとなった平澤市の中学生を受け入れ、野外活動や日本文化体験、ホームステイ等の交流を行った。

期 間：8月2日～8月6日 5日間

参 加 者：平澤市中学生12人・引率者3人

松山市中学生12人（チャレンジプロジェクト登録生2人を追加）

交流内容：浴衣着付け、茶道体験（指導：松山市シルバー人材センター）

料理づくり体験（指導：松山・平澤友好協会）

防災体験（於：松山市防災センター）

愛媛県美術館「松本零士展」観覧

松山市考古館「勾玉づくり、火おこし体験」

しまなみ海道ツアー（来島海峡観潮船・サイクリング）

ホームステイ ほか

(2) フライブルク市青少年受入交流

まつやま中学生海外派遣・ドイツ班の中学生が、フライブルク市でパートナーとなった生徒を含むゲーテ・ギムナジウム（中高一貫校）の訪問団を受け入れ、日本文化体験や学校訪問、ホームステイ等の交流を行った。

期 間：10月22日～10月27日 6日間

参 加 者：生徒14人・引率教諭2人

交流内容：防災体験（於：松山市防災センター）

浴衣着付け、握り寿司体験（指導：松山市シルバー人材センター）

愛媛FCレディースとのフットサル交流

垣生中学校訪問による授業参加、生徒との交流

しまなみ海道ツアー（来島海峡観潮船・村上水軍博物館）

ホームステイ ほか

3. 海外からの親善訪問団等受入

姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ、親睦を図ったほか、海外からの文化・スポーツ・教育関係者など、様々な個人・団体が来松した機会を捉え、市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めた。

(1) サクラメント市ローズモンド高校 ケリー・ストーン先生

ケリー先生の来松に伴い、サクラメント松山姉妹都市協会と連携し、学校訪問による児童生徒との交流やボランティアガイドによる観光案内を実施した。

なお、同姉妹都市協会の主催事業として、9月にサクラメントへ派遣された高校生がローズモンド高校を訪問し、書道パフォーマンスの披露や授業参加等の交流が行われている。

・期 間：7月4日～7日

・内 容：さくら小学校、県立西中等教育学校の訪問

ボランティアガイドの案内による松山城観光

松山市、姉妹都市協会ほか関係者との意見交換

(2) サクラメント州立大学・増山教授

増山教授の来松に伴い、サクラメント松山姉妹都市協会会員や愛媛大学ESS部員との交流の場を設け、姉妹都市交流の促進を図った。

なお、秋以降に、愛媛大学とサクラメント州立大学の間でインターネットTV会議やスカイプによる大学生同士の交流が実施されている。

- ・期 間：7月14日
- ・内 容：松山市や姉妹都市協会、愛媛大学ESS部員との意見交換
市内観光アテンド

(3) ジャズコーラスグループ「ジャズコア・フライブルク」

ジャズコア・フライブルクが公演のため来松した機会を捉え、鹿島において「北条地区まちづくり協議会」の協力を得て、日本文化や音楽等を通じた交流を実施した。

- ・期 間：9月2日
- ・内 容：浴衣の着付け、盆踊り体験（鹿島音頭）
郷土料理（鯛めし）による昼食
ジャズコア・フライブルクによるアカペラコーラス披露

(4) ジャズハーピスト 古佐小 基史さん

松山市出身でサクラメント市を拠点として活動する古佐小基史さんが公演のため帰松した機会に、児童生徒を対象とした交流事業を実施した。

- ・内 容：①10月9日 興居島小・中学校訪問（姉妹都市協会共催）
小中学校の全校児童生徒に対するハーブ演奏・おしゃべり
- ②10月10日 雄郡小学校訪問（姉妹都市協会共催）
6年生児童に対するハーブ演奏・おしゃべり
- ③10月19日 チャレンジプロジェクト「世界で暮らす日本人」開催
中学生29人が参加し、ハーブ演奏・おしゃべり

(5) 平澤市視察団

平澤市総務局長をはじめとする視察団3人の来松に伴い、松山市や松山・平澤友好協会と連携し、交流関係者との意見交換やボランティアガイドによる観光案内を実施し、友好都市交流の促進を図った。

- ・期 間：10月27日～29日
- ・内 容：松山市長表敬訪問
松山市、友好協会との意見交換
ボランティアガイドによる観光案内

(6) 日EU英語俳句コンテスト最優秀受賞者 ヨルゴス・パクシマディス夫妻

EU及び外務省が主催する同コンテスト最優秀賞の副賞としてギリシャからパクシマディス夫妻が来松したことに伴い、観光案内やボランティアガイドの派遣、文化体験等をコーディネートした。

- ・期 間：11月17日～20日
- ・内 容：ボランティアガイドによる観光案内や一草庵、庚申庵めぐり
俳句愛好家との懇談
茶道、着付け体験と、握り鮓体験を通じた外国人市民との交流
(指導：松山市シルバー人材センター)

(7) ヘルマン・ファン＝ロンパイ欧州理事会議長

俳句の愛好家として知られるファン＝ロンパイ議長一行12人の来松に伴い、松山城山頂広場において、俳句を通じた交流会を実施した。

- ・期 間：11月18日
- ・内 容：東雲小学校児童及び障害者福祉施設「木麦の家」入所者との俳句を通じた交流

(8) 南ソウル大学日本語学科

同大学生15人が愛媛大学との交流プログラムで来松した機会を捉え、「交流ボランティアのための語学講座」韓国語の受講生との交流の場を創出した。

- ・期 間：2月6日
- ・内 容：韓国語講座の時間を利用し、お互いの国の料理づくり通じて、交流を行った。

(9) 愛媛マラソン平澤市選手団

平澤港マラソンに松山市選手団が参加したことに伴う相互交流として、平澤市から選手4人や体育協会関係者、広報大使ら9人の合計13人を受け入れ、視察、交流をコーディネートした。

- ・期 間：2月7日～11日
- ・内 容：愛媛マラソンへの選手4人の参加及びコース視察、前夜祭参加
スポーツ施設等の市内視察
陸上競技関係者との協議

※ その他、海外からの国際交流団体や行政視察団、各国大使らの来松に際し、松山市との連携により、通訳やアテンド、市民交流のコーディネート等を行った。

4. 地球人まつり

E P I Cとの共催により、17回目となる「地球人まつり in まつやま・えひめ」を開催し、外国人市民が市民と一緒に自国を紹介するブースを出展することで、外国の歴史や文化に親しみながら市民とふれあう機会を提供し、身近な国際交流の促進を図った。

また、各ブースのボランティアスタッフとして参加した市民は、企画・準備から運営までを外国人市民とともに行うことで、より深い交流を促進した。

- ・日 時：1月19日 13:00～17:00
- ・場 所：松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール1F・2F
- ・出 展：世界各国ブース 27ブース（前年比6増・過去最多）
フードコーナー 9カ国
民族衣装試着コーナー
パフォーマンス出演 17グループ

- ・ボランティア数：外国人市民65人・市民ボランティア190人
(うち、チャレンジプロジェクト登録生徒46人)
- ・来場者：約1,700人
- ・その他：2階に愛媛県国際交流協会が主催する県内国際交流団体の活動紹介ブースが出展

5. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）の収穫に合わせ交流イベントを開催するとともに、収穫した果実からぶどうジュースと飴を製造し、「国際交流サロン」等のイベントで配布・活用した。

○ぶどう狩り交流イベント

- ・日 時：8月13日
- ・参加者：中学生17人・外国人市民20人
- ・内 容：ぶどう狩り

ソラリス及びフライブルク市の紹介

(株)えひめ飲料によるぶどうジュースの製造過程の説明

たこ焼き及びかき氷作り（指導：松山・平澤友好協会ほか）

○製造品

- ・ぶどうジュース 323本
(250ml 瓶・姉妹都市提携25周年記念版)
- ・ぶどう飴 600袋（10個入り）

II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生を推進した。

1. 外国語としての日本語教室

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。

講座名	曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数(人)		
				前期	後期	
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00～14:30	30	26	27
	初級Ⅱ	木曜	13:00～14:30	30	25	27
	初級Ⅲ	木曜	14:45～16:15	30	11	19
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30～20:00	30	18	11
週末	初級Ⅱ/Ⅲ	土曜	10:00～11:30	30	19	16

○託児サポート：子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

- ・利用者：前期3人、後期4人

○にほんご de はなそう：市民グループ「にほんご町内会」との共催で、計5回開催。

日本人と外国人の参加者が、日本語でコミュニケーションを図り、身近な話題をテーマに情報交換を行った。

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対し、助成を行った。

団 体 名	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
キ ャ ス C A S	市内各戸に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供。年間千件を超える余剰品を回収し、洗濯機や冷蔵庫、自転車など、生活用品全般を留学生や外国人就業者へ提供した 主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ごみ処理費	400,000 円 (770,000 円)

3. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	4月19日	【世界の教育制度】 アルゼンチン、インド、ポーランド、マリ、韓国、中国の6カ国のゲストスピーカーによる、海外の教育事情をテーマとしたパネルトークを開催した	58
2	6月14日	【日本のイスラム】 新居浜市で礼拝所を管理する日本人と、松山在住のイスラム教徒の留学生から、イスラム教徒の現状や彼らの抱える課題等を聴講した	28
3	9月7日	【外国語 de おしゃべり】 4人の外国人ゲストを招き、英語だけでおしゃべりを楽しむ会を開催。コミュニケーション能力の向上と多文化共生意識の向上を図った	21
4	9月29日	【世界の子育て】 トルコ、シエラレオネ、インドネシア、フィリピン、モンテネグロの5カ国ゲストによる子育てに関するパネルトークを開催した	30
5	11月8日	【アフリカサロン「JUNBO Africa」】 ケニア、スーダン、ウガンダ出身のゲストを招き、各国を紹介。初めての試みとして、通訳を付けず英語のみで開催した	38
6	1月26日	【体感!!世界の食事情】 《コムズフェスティバル事業として開催》 世界の貧困を克服するための活動を行っているNPO法人オックスファム・ジャパンから講師を招き、ワークショップを通して世界の食事情を体感した	25
7	3月9日	【あこがれのインド】 インド人留学生のグループが講師を務め、インドの文化の紹介と、体験ワークショップを行った。参加者は、ヨガ・ヘナ・ダンスに親しんだ	31
合 計			231

4. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成やコミュニケーション能力の向上を目的とした講座等を開催し、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

職員による出前講座や職場体験を開催したほか、学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを派遣するなど、「国際理解教育」への支援を行った。

内 容	小 学 校	中 学 校	そ の 他
① 職場体験／出前講座	1回（135人）	2回（8人）	2回（24人）
② 学校等への外国人派遣	11回（44人）	3回（14人）	1回（2人）

※延べ人数、①は参加生徒数・②は派遣した外国人数

(2) コスモリアン教室

JICA四国・松山ユネスコ協会などの民間国際団体との連携により、ワークショップを開催したほか、外国人や海外生活者と直接交流できる機会を設け、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	5月19日	【のぞいてみよう！国際協力の世界 part 1】 ≪ JICA四国との連携 ≫ ○青年海外協力隊員体験談：ラオス ○ワークショップ： 「1枚の看板」をもとに、国際協力のあり方について考えた	17
2	6月16日	【発見！世界遺産とわたしの街のたからもの】 ≪松山ユネスコ協会との連携≫ 世界遺産をカルタやビンゴゲームで楽しく知るとともに、その意義を学び、異文化理解に努めた	27
3	7月6日	【のぞいてみよう！国際協力の世界 part 2】 ≪ JICA四国との連携 ≫ コンビニから見える世界～おかずたちの大冒険～愛大生がワークショップを実施。自分達と世界のつながりを実感し、自分たちできることを考えた	20
4	7月20日	【国際交流チャレンジ講座 ～海のむこうはどんなところ？～】 ≪愛媛県国際交流協会主催事業との連携≫ 愛媛県国際交流協会が実施する講座をチャレンジプロジェクトの対象事業とし、中国・韓国・ハワイのネイティブゲストにより、料理や試食体験を通して文化を学習した	14

5	9月22日	【のぞいてみよう！国際協力の世界 part 3】 ≪ J I C A 四国との連携 ≫ ○元青年海外協力隊員体験談：ケニア ○ワークショップ： 「難民の気持ちになってみよう！」自国で内戦が起き、自分が難民になったという設定で、生きるために必要なものは何か？についてグループで検討	23
6	10月19日	【世界で暮らす日本人～ジャズハーピスト編～】 松山出身でサクラメントを拠点に活動するジャズハーピスト・古佐小基史さんをゲストに、ハープの鑑賞やアメリカでの仕事や生活体験談等による交流	29
7	3月2日	【のぞいてみよう！国際協力の世界 part 4】 ≪ J I C A 四国との連携 ≫ ○元青年海外協力隊員体験談：ルワンダ ○ワークショップ： 愛大生が「水」をテーマにワークショップを実施。我々の生活と、発展途上国の水不足の繋がりについて学習	19
合 計			149

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD（持続可能な開発のための教育）の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

	学 校	内 容
1	新玉小学校 6年生93人	モザンビークの芸術家や国立民族博物館の吉田教授らとの芸術交流を通して平和について学んだ。また、文房具や衣類をリサイクルして作ったバッグなどの寄贈する活動を行った。
2	東雲小学校 2年生51人	公園内の未利用地を活用し、NPO、大学、町内会などと連携し、サツマイモを栽培・収穫・調理・試食することで、環境についての理解を深めるとともに、地元の人や学生など様々な人とコミュニケーションを図ることができた。
3	小野中学校 1年生19人	平和について理解を深める目的で、モザンビークで銃の回収を行っている機関と関連のある団体の人が作った刺繍の作品に、一針ずつ刺繍を足していくというワークショップを実施した。
4	愛媛大学 附属高校 2年生14人	選択科目「生活総合Ⅱ」において、途上国の現状を理解し、社会貢献・国際協力の方法としてフェアトレードを学び、その観点から新商品開発のアイデアを出し、商品の販売体験を行った。

(4) 外国語（英語）de おしゃべりジュニア編

中学生とネイティブスピーカーがグループになり、遊びやゲームを英語だけでやり取りすることで、楽しみながらコミュニケーション能力の向上を図った。

月 日	内 容	参加者数（人）
6月 2日	自己紹介ゲームほか	中学生 19 外国人市民 5
10月20日	ジャンケンゲームほか	中学生 27 外国人市民 5
2月 2日	ジェスチャーゲームほか	中学生 24 外国人市民 5
3月 9日	英作文コンテストゲームほか	中学生 22 外国人市民 6
合 計		中学生 92 外国人市民 21

5. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、お祭り等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、地域住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への受け込みと多文化共生を図った。

(1) 地域や団体の行事への参加

	月 日	内 容	参加者数（人）
1	5月9日	【二之丸薪能】 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を観賞	20
2	5月11日 ～12日	【二之丸大茶会】 愛媛県茶道連盟松山支部の招待により、外国人市民が伝統文化を体験	50
3	8月11日	【松山まつり The 地球人パフォーマンス】 松山まつりのメインステージで行われるパフォーマンス大会に留学生や在住外国人のグループが参加	48
4	10月6日	【銀天街神輿パレード】 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流	9
5	11月11日	【二之丸薪能】 外国人留学生が、日本の伝統文化を体験	6
6	3月15日	【おもてなし日本一のまち松山】 「ALLまつやまおもてなし大作戦」に、在住外国人コミュニティーも参加	9
合 計			142

※ その他、各種団体の協力や依頼により、様々なイベントへの招待や、参加呼びかけ、ボランティア活動・祭りなど地域行事への参加もあり。

(2) 学校のクラブ活動での文化体験

外国人が日本文化を体験する機会として、学校のクラブ活動へ参加させてもらうとともに、受け入れる生徒・学生にとっても国際交流体験の機会とした。

月 日	学 校 名	出 身 地	参加者数 (人)
1月10日	東雲女子大学 着装部 (ゆかた着付け)	インドネシアほか	5
合 計			5

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や団体の活動の活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努めた。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、地域の国際化の現状を理解するための入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。また、中学生を対象に「ジュニアボランティア入門講座」を開催し、幅広く人材育成に努めた。

○入門講座

- ・日 時：11月2日
- ・受講者数：32人
- ・内 容：愛媛県国際交流協会の大森典子氏を講師に迎え、地元の国際化の状況について理解を深めた

○国際交流団体による活動紹介

- ・日 時：11月23日
- ・受講者数：23人
- ・内 容：市内で活動する国際交流14団体が参加市民に対してガイダンスを行い、マッチングを図った

○ジュニアボランティア入門講座

- ・日 時：11月17日
- ・受講者数：中学生13人
- ・内 容：アジア・アフリカの民間支援団体「アジアキッズケア」において、外国人市民とともに、マラウィとフィリピンへの支援物資の荷づくり作業等の体験

2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を活かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。

また、これらの受講者を含めてボランティアガイドに登録し、活動してもらうことで、市民参加の拡大に努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光・文化施設の案内など、ボランティア活動に必要なかつ実践的な語学の習得を図った。

講座名		前期（4～9月）	後期（10～3月）
ハングル	上級	13回・登録者17人	13回・登録者23人
中国語	上級	12回・登録者5人	12回・登録者9人
英語	平日	15回・登録者60人	15回・登録者60人
	土曜集中	5回・登録者26人	5回・登録者26人

・各講座とも、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。その際、外国人市民をゲストに招き、実践を想定した授業を実施。外国人市民の松山への理解促進と交流を図った。

(2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドやイベント通訳等の支援を行った。

《ボランティアガイド登録：96人》

	月日	内容	種別	派遣人数(人)
1	7月6日	サクラメント市民の松山城観光	ガイド	1
2	7月11日	アメリカ人高校生の松山城、道後観光	ガイド	1
3	7月12日	アメリカ人の松山城・道後観光	ガイド	1
4	11月18日	EU俳句優勝者の一草庵・庚申庵・松山城の案内	ガイド	1
5	11月19日	EU俳句優勝者の道後温泉案内	ガイド	1
6	12月6日	中国人の松山城観光、エミフルでのショッピング	ガイド	2
7	2月8日	愛媛マラソンに伴う平澤市訪問団の松山城観光	ガイド	2
8	2月23日～ 3月1日	「高陽ワンダーズ」の春季キャンプに伴う練習試合の場内アナウンス	通訳	5
9	3月6日・ 8日	フライブルク市民松山城・道後温泉・石手寺観光	ガイド	2
10	3月29日	アメリカ人、オーストラリア人高校生の松山城観光	ガイド	1
合計				17

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人に対し、ホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

《ホストファミリーバンク登録：89家庭》

	期 間	受入 家庭	受入人数 (人)	内 容
1	3月30日～4月2日	1	1	フライブルク大学からの留学生
2	4月 8日～19日	2	1	カナダ人訪問者
3	5月11日～12日 5月18日～19日	4	4	松山大学の韓国人留学生
4	5月24日～26日	11	14	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
5	6月 1日～16日	1	1	シンガポール人学生
6	9月 8日	58	74	愛媛大学のアメリカ人短期留学生 (ホームビジット)
7	9月10日～20日	1	1	フライブルク大学からの留学生
8	9月13日～15日	7	9	愛媛大学のアメリカ人短期留学生
9	11月16日～17日	2	3	松山大学の台湾及び中国人留学生
合 計		87	108	

○My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族となってもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安として、ホームステイに限らない自由な交流を行ってもらう「My Matsuyama Family」を実施した。

- ・交流実績：春季（6月～9月）：8カ国36人の留学生が31家庭と交流
 秋季（11月～2月）：8カ国17人の留学生が16家庭と交流
- ・登録家庭：200家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

また、愛媛県国際交流協会との共催で、学習会を開催するなど、活動に役立つ情報提供や、スキルアップの機会を設けた。

○オタスケマン登録者数：医療99人・日常263人

(1) 医療同行サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	5月29日	妊婦検診に同行	1
2	6月13日	妊婦検診で助産婦指導の通訳	1
3	9月 2日 9月 5日	皮膚科受診（帯状疱疹）時の通訳	1

(2) 日常生活サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	4月26日	勝岡運転免許センターでの更新手続きサポート	1
2	6月14日	勝岡運転免許センターでの免許試験に伴う通訳	1
3	7月 4日	米国観光ビザの申請に伴うPC入力サポート	1
4	11月25日	アパートの入居立ち会い、市役所同行手続き	1
5	12月 5日	携帯電話の手続き、小学校転入前の見学	1
6	12月26日	小学校転入と学童保育手続きサポート	1
7	2月 7日	小学校入校に関する学校での説明に伴う通訳	1
8	2月13日～ 3月25日	小学校と保護者の間の連絡サポート	1
9	3月26日	松山への転入に伴う諸手続き（市役所、銀行ほか）	1
10	3月28日	勝岡運転免許センターでの免許切り替えに伴う通訳	1
11	1学期中	（過年度より引き続き）帰国子女の学校生活サポート	1

(3) 愛媛大学留学生来日手続き…市役所・銀行・大学での書類記入サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	4月 4日	愛媛大学での各種書類記入	2
2	4月 6日	愛媛大学での各種書類記入	1
3	9月 24日	愛媛大学での各種書類記入	5
4	9月 25日	愛媛大学での各種書類記入	3
5	9月 26日	愛媛大学での各種書類記入	2
6	9月 25日	市役所での手続き同行サポート	1

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

姉妹・友好都市との交流促進を目的として民間団体等が実施する訪問・受入事業に対し、助成金を交付し、市民主体の友好親善の促進を図った。

	月 日	事 業 内 容	助成金額 (総事業費)
1	9月19日 ～ 9月23日	<p>交付先：サクラメント松山姉妹都市協会 事業名：2013 国際平和デー サクラメント派遣事業 内 容：カリフォルニア州議事堂において開催された「国際平和デー」に新田高校と松山商業高校の生徒ら9人が参加し、書道パフォーマンスの披露と折り紙の実演を行った。また、現地の高校2校を訪問し、文化交流を行うとともに、ホームステイを通じて、交流を深めた</p> <p>主な経費：渡航旅費</p>	200,000 円 (1,869,006 円)
2	10月10日 ～ 10月22日	<p>交付先：松山バッハ合唱団 事業名：フライブルク バッハ合唱団との交流事業 内 容：平成7年から交流が続くフライブルクバッハ合唱団との合同演奏会に参加するため、団員21人が訪独。演奏会には約1,500人が来場し、高い評価を得た。また、合同練習やホームステイ等を通じて、交流を深めるとともに、26年6月には松山での合同演奏会を開催予定である。</p> <p>主な経費：渡航旅費</p>	200,000 円 (3,135,138 円)

3	10月11日 ～ 10月13日	交付先：平澤港マラソン招待選手団 事業名：平澤港マラソンへの参加 内 容：平澤市の要請により、選手・役員計5名が同市を訪問。選手4人全員が完走し、男子の部では4位に入賞した。会場のブースでは多くの市民やマラソン関係者と交流し、2月の愛媛マラソンには平澤市からも4人の選手が参加した。 主な経費：渡航旅費	111,825 円 (223,650 円)
4	11月14日 ～ 11月21日	交付先：松山フライブルク会 事業名：姉妹都市提携25周年記念フライブルク訪問事業 内 容：姉妹都市提携25周年記念行事の開催に合わせ、松山市代表団とともに訪問。記念式典等への参加のほか、現地フライブルク松山会 会員との交流も深めた 主な経費：渡航旅費	200,000 円 (5,121,827 円)

(2) 後援

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	6月15日 16日	第44回八木杯争奪大学対抗英語討論大会	松山大学 E.S.S 「英語部」
2	8月31日 9月 1日	姉妹都市提携25周年事業 ジャズコア・フライブルクジャパンツアー 2013	(公財)松山市文化・ スポーツ振興財団
3	8月23日～ 8月25日	第19回日韓市民友好交流フォーラム in 愛媛	愛媛地球市民の会
4	10月12日	第30回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会～	松山東雲中学 ・高等学校
5	10月12日	第20回カルフル杯英語弁論大会	松山大学 E.S.S 「英語部」
6	12月 7日 13日	第3回愛媛 LGBT 映画祭 2013	レインボープライド 愛媛

6. 情報発信事業

(1) 情報冊子等による情報提供

生活ガイドブック、防災マニュアル等により、生活情報を外国人市民へ提供するとともに、市民に対しても、姉妹・友好都市紹介等のパンフレットを提供し、国際理解の促進を図った。

また、英語ボランティアガイドクラスが編集した英文情報誌を月に1回発行し、各種情報を提供した。

○月刊英文情報誌「What's going on?」

毎月570部発行（公共施設・駅・空港・大学など36か所に設置）

(2) ホームページ・メールニュース・フェイスブックによる情報提供

イベント、講座等の情報のほか、外国人市民向けの生活情報も適宜、掲載・発信し、情報内容の充実に努めた。

○メールニュース

週1回定期発信，登録数：市民 1, 330件・外国人市民 658件

(3) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書、国際理解啓発DVD等を収集し、市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：43件

(4) 新入学留学生に対するガイダンスの実施

愛媛大学、河原電子ビジネス専門学校日本語学科の新入学留学生に対し、ガイダンスを行い、生活情報を提供するとともに、協会事業の周知を図った。

(5) ラジオ・テレビによる広報

松山市のラジオ・テレビ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民に対への周知を図った。

	月 日	告 知 内 容	番 組 名
1	5月25日	国際交流サロン「日本のイスラム」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
2	8月17日	ボランティア語学講座（後期）・国際交流サロン「世界の子育て」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
3	10月26日	「国際交流市民ボランティア入門講座」・国際交流サロン「JUMBO Africa」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
4	1月 4日	「地球人まつり」の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
5	1月 6日	「地球人まつり」の案内	テレビ広報番組 「大好き!まつやま」
6	1月 9日	「地球人まつり」の案内	FM愛媛

IV. もてなしの風土醸成事業

日本語教室や文化体験等、協会が持つノウハウを生かしたプログラムを提供することで、外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努めた。

1. 日本体験集中プログラム

愛媛県国際交流協会が実施する日本語教室と、本協会が実施する日本文化体験、市民との交流等、県市協会の持つノウハウを生かしたプログラムを提供することにより、姉妹友好都市からの誘客を図り、交流人口拡大に向けた一助とした。

- ・ 期 間：3月4日～19日
- ・ 受入人数：フライブルク市で生涯教育機関の日本語教室へ通う市民4人
- ・ 内 容：E P I C「日本語集中講座」受講（10日間）
英語ボランティアガイドの案内による松山城・道後周辺の観光
愛媛銀行茶道部の協力による茶道体験
和気剣道クラブの協力による剣道体験
新田青雲中等教育学校弓道部の協力による弓道体験

NPO「すずめのそぞろ歩き」の指導による浴衣着付け体験
松山フライブルク会との料理体験・交流
松山市シルバー人材センターの指導による握り寿司体験
松山市防災センターでの防災体験

2. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

- ・設置台数 10台
- ・料金 無料
- ・貸出回数 35回

3. 外国人観光客誘致事業への協力

観光関連機関との連携により、外国人観光客誘致事業へ積極的に参画し、交流人口の拡大に向けた支援を行った。

松山まつりの会場に国際交流についてのブースを出展し、主に姉妹友好都市との交流について外国人市民や市民にPRした。

- ・8月11日 堀之内松山まつり会場

(公財)松山市文化・スポーツ振興財団の主催するドイツフェアに姉妹都市フライブルク市との交流を紹介するブースを出展し、フライブルクの魅力や、松山市との交流状況について外国人市民や市民にPRした。

- ・8月31日・9月1日 松山コミュニティセンター

松山商工会議所の主催するセミナーに参加し、情報収集を行った。

- ・10月4日 松山商工会議所インバウンドセミナー

IV. 理事会・評議員会の実績等

平成25年度における理事会・評議員会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開催日時：平成25年6月4日

開催場所：コムズ4階国際交流会議室

決議事項：評議員の選任、理事の選任、平成24年度財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

出席者：評議員4人、理事1人、監事2人

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：主たる事務所の移転、理事との取引の承認

出席等：主たる事務所の移転に対し理事7人全員、理事との取引の承認に対しては当該理事を除く理事6人から書面による同意の意思表示が、また、両案件に対して監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た4月1日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第2回理事会

開催日時：平成25年5月15日

開催場所：コムズ4階国際交流会議室

決議事項：平成24年度財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認
平成25年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集
平成25年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会において決議する役員等の選任議案の概要

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事7人、監事2人

○第3回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：理事の選任

出席等：理事の選任に対し、理事7人全員の書面による同意の意思表示及び、監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た1月30日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第4回理事会

開催日時：平成26年3月27日

開催場所：コムズ4階国際交流会議室

決議事項：平成26年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算（案）の承認、理事との取引の承認、公益財団法人松山国際交流協会就業規則の一部改正

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事6人（欠席1人）、監事2人

3. 関連当事者との取引の内容

役職及び氏名	内 容	金 額
評議員 ルース・バージン	5月11・12・13日に開催した「まつやま中学生海外派遣事業」派遣生徒選考のための面接審査員	24,000円
理 事 楊 泓	「交流ボランティアのための語学講座」中国語における講師 平成25年4月12日～平成26年3月14日の間で、1回あたり1時間30分の講座を24回実施	240,000円